

まちづくり提言の公表（令和4年6月受付分）

※回答内容は、回答した当時の内容を掲載しています。

件名	ご意見の内容(一部を要約しています。)	回答内容(一部を要約しています。)	担当課
駅前駐車スペースについて	<p>徳山駅前の駐車スペースの使い方について。送迎車専用のスペースに図書館等の利用や、子供さんの水遊びのために長時間車を停車する人が多く困っています。本当に送迎のために利用したい車が停められません。送迎で10年以上駅前に通っています。ずっと困っています。</p> <p>駅横の駐車場が休日や行事で満車でも、近隣に駐車場はたくさんある。警察の方も何も注意されないようなので、管轄が警察ではないと判断しました。どこに対応をお願いするかも分からず、今回初めて周南市へご相談です。少し案内があるのは知っています。もっと、厳しい注意喚起をしてください。</p>	<p>一般車乗降場に長時間駐車をされる方が多く、禁止する旨の啓発看板を立てたり、車のワイパーに警告用紙を挟み込んだりしていますが、依然として後を絶たない状況です。</p> <p>市としては、令和4年7月1日に施行される「周南市徳山駅前広場等条例」に一般車乗降場への駐車を禁止行為として明確に規定し、警察と連携するなど長時間駐車の対策に一層努めて参ります。</p>	<p>中心市街地活性化推進課</p>
野犬問題について	<p>人が咬まれる被害が出ているそうですが、なぜ、安心安全な生活のための根本対策をしないのですか。人が亡くなれば、捕獲するのでしょうか、このように野犬を放置して人命が失われた場合、市は大変な損害賠償を訴えられ、今までの判例では市に勝ち目は無いです。それが想定されるくらい、危機的な状態だと考えています。犬をどうするかではなく、状況を住民にとって安心安全な状況にすることが行政に求められます。この意見を市の運営の参考にしてほしいです。</p>	<p>本市における野犬対策は喫緊の課題であることから、令和元年7月に県が設置した「周南地域の野犬問題に関する連絡協議会」を軸として、県・市・警察・地域の皆様との更なる連携の基、捕獲業務、むやみなエサやり禁止パトロール、野犬が棲みにくい環境づくりのための草刈り、野犬に対する市民への注意喚起など、対策を強化しています。</p> <p>その結果、一部の地域では、以前よりも野犬を見かけることが少なくなったなどのお声をいただいておりますが、依然として野犬による被害は発生しています。このため、本市では現在、県・市・警察・地域の皆様とより一層の連携を図りながら、市民の皆様からの情報等を基に、捕獲檻の設置及び地形等に応じた捕獲の実施、むやみなエサやり行為の時間や場所を特定し、厳しく注意、指導を行っています。また、野犬が目撃される場所の草刈りのエリアを拡大するなど、より有効的な方法で対策を継続しています。</p>	<p>環境政策課</p>
岩徳線維持のために	<p>周南は岩徳線を維持するために「徳山駅を訪ねたくなる場所」にしなければいけない。県と国に娯楽でもスポーツでもデジタル施設でもいいから周南に新しく何かを建てる支援を要望してはいかがでしょうか。これまで行ってきた駅周辺の再開発とは別にです。ピンチを生かして、どんどん攻めていくべきではないかと。</p>	<p>ご存知のとおり、市が取り組んでまいりました徳山駅周辺整備事業は令和2年度に完了したところです。現在は、民間主導による市街地再開発事業が進められています。本再開発事業では、「周南、徳山にふさわしい“ライフスタイルセンター”を創出する」をコンセプトとして掲げられ、令和5年12月には、商業施設やホテル等で構成される複合施設が開業する予定です。</p> <p>市といたしましては、こうした民間投資の喚起が連なり中心市街地の活性化につながるよう、引き続き努めてまいります。</p>	<p>中心市街地活性化推進課</p>

## まちづくり提言の公表（令和4年6月受付分）

※回答内容は、回答した当時の内容を掲載しています。

件名	ご意見の内容(一部を要約しています。)	回答内容(一部を要約しています。)	担当課
子供のための施設について	子育てをしていく中で、周南市は保育園や支援センターの数などとても充実していると思います。とても有難いことなのですがもう少し室内の遊び場があれば嬉しいなと思い今回ご連絡させていただきました。他市のように無料で親子が集い遊べるような場所を作っていただけるととても嬉しいです。周南市はたくさん新築の住宅地が増えているように思います。大きな子育て施設を作れば周りに飲食店やショッピングモールなど集まり、人もたくさん来るのではないのでしょうか。	ご提言をいただきました、室内の遊び場についてですが、本市が実施しました、「周南市子ども・子育て支援ニーズ調査」の結果からも、「屋内の遊び場・居場所の整備・充実」について、高いニーズがあることを把握しており、本市におきましても取り組んでいくべき課題と考えております。室内の遊び場の設置につきましては、本市の子育て支援策全体を検討する中で考えていきたいと思っておりますので、ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。	次世代支援課
駅前開発について	現在双子を子育て中です。外出の際は横並びの双子用ベビーカーを利用しています。駅前図書館は授乳室や赤ちゃん用トイレもありますし、おはなし会も開催されるので利用していますが、どこかのエレベーターも入り口が狭くベビーカーが入りません。子供用の絵本コーナーは二階にあるので、いつもベビーカーの向きを変えて、無理やり引っ張ってエレベーターに入れています。タイヤも変な方向に引っ張られるのでベビーカーが壊れる心配もあるし、子供もこれからどんどん重たくなるので、私が引っ張れなくなるかも、と今後が不安です。駅の南側に渡るのもこのような感じで一苦労です。 今駅前が開発されていますが、駅とテナント棟が繋がるのか分かりませんが、どこか繋がる所があればそのエレベーターが入り口の広いエレベーターになればいいと思っています。テナント棟のエレベーターは広々エレベーターにしてほしいです。	横並びの双子用ベビーカーをお持ちの方にとられまして、当館エレベーターの出入口が狭く、大変ご苦勞をされているとの貴重なご意見をいただきお礼申し上げます。 ご存知かもしれませんが、一般的なエレベーターは、JIS規格により、かごの最大定員や積載荷重に応じて、有効出入口寸法が決まっております。徳山駅前賑わい交流施設のエレベーターの場合は、最大定員が11人、有効出入口寸法は800mmとなっております。また、現在工事中の山口銀行や徳山商工会議所等が入居される建物（通称：駅前棟）に設置されるエレベーター（1基）は、最大定員が13人、有効出入口寸法は900mmとなっております。駅前棟は、徳山駅前賑わい交流施設とデッキで繋がることから駅前棟のエレベーターを利用して同施設に入館されることは可能となります。 しかしながら、横並びの双子用ベビーカーについて調べてみますと、幅が狭いもので約720mm、広いもので約900mmと商品によって幅も異なるようですし、お持ちのベビーカーによっては駅前棟のエレベーターでも使いづらい場合も想定されることから、徳山駅前賑わい交流施設をご利用される際にお困りごとがございましたら、当館の職員が協力いたしますので遠慮なくお声がけいただきますようお願いいたします。	中心市街地活性化推進課
産業道路を通るコミュニティバスについて	野村開作、花園町、三笹町など、産業道路周辺の現状をご存知でしょうか。産業道路を走るバスは全て廃止され、旧2号線に出るにも古河跨線橋は通行止め。車を運転できる世代はいいですが、高齢の方たちはどうしたらいいのでしょうか。私の母は、免許の返納を考えています。しかし、返納した後のことを考えると心配です。現在スポーツクラブに毎日通い、水泳とそこでのコミュニケーションが、元気の源ですが免許返納後は、通うのが困難になります。 私の希望は、産業道路を通るコミュニティバスを走らせてほしいということです。大型でなくてもワゴン車のようなものでも、ラッシュ時間を避けた時間帯に、1時間に2便くらいいいので。例えば、徳山駅からショッピングモールまでとか、徳山駅から新南陽駅とか、産業道路を往復するコースがあったらと思います。タクシーを使えばと言われるかもしれませんが、現実的ではありません。長年この地で生きてきた人々の生活が、置き去りににならないように何卒よろしく願いいたします。	バス事業者が慢性的な運転士不足に対応するため、路線の利用状況等を総合的に判断し、令和元年9月末に産業道路の運行を中止しておられます。運行を中止した区域において、コミュニティバスの運行のご提案もいただきましたが、当該地域は、複数の民間交通事業者が営業しているエリアでもあり、運行にあたっては民業への配慮も必要と考えております。 本市では、高齢者の移動を支援するため、65歳以上の運転免許証をお持ちでない方や75歳以上の方を対象にバスやタクシーの運賃助成事業を昨年10月から開始しておりますので、本制度の活用をご検討いただければと存じます。	公共交通対策課